

有限会社きらり
の経営状況を説明する書類

令和8年第5回
佐伯市議会定例会

(有) きらり

令和 8 年 3 月 31 日現在

法人の概要

- (1) 名 称 有限会社 きらり
- (2) 目 的 本匠地域の農林業振興の核として生産者主体による担い手の組織を設立し、
農林業就業者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっている本匠地域の
第一次産業の活性化を積極的に推進する。
- (3) 設立年月日 平成 17 年 2 月 18 日
- (4) 資 本 金 3,000 千円（市出資等額：2,400 千円、市出資等割合：80%）
- (5) 役 員 取締役 4 人 監査役 1 人
代表取締役 高 橋 昭 男
取 締 役 染 矢 宣 幸
〃 三 浦 渉
〃 小 野 隆 壽
監 査 役 矢 野 正 人
- (6) 従 業 員 12 人
- (7) 事 務 所 佐伯市本匠大字波寄 2692 番地

令和7年度事業経過報告

基幹事業である農業部門を始め、堆肥施設部門、製茶部門、加工施設部門の運営や販売に取り組んだほか、公の施設の指定管理者として、佐伯市本匠釜茶加工施設など3施設について管理を継続してきました。

1 農業部門

農業部門では、作業受託面積は、一部をWC S用稲（稲発酵粗飼料）と主食米の作付けへ変更したため、前年度より減少しました。

また、水田活用直接支払交付金や市の助成金制度などを活用して、WC S用稲（稲発酵粗飼料）に加え、大麦の作付けも行い、経営の安定化を図りました。昨年度植栽した粟は、一部の圃場で排水不良により水が滞留し、根腐れによって生育不良が見られたため、植栽環境を改善した上で、本年度改めて約200本を植え直しました。今後も成長の状況を見守りながら、適切な管理に努めていきたいと思ひます。

水稻の作付けは、耕起、田植などの春作業から刈取、乾燥・調製までの一連の作業体系により実施しています。本年度は天候もよく、作業を無事終えることができました。大麦の作付けも、天候にも恵まれ春の収量は良好でした。

WC S用稲（稲発酵粗飼料）は、作付面積を昨年度より増やしましたが、獣害対策や草刈りなどの管理作業に多くの労力を要したため、今後は効率的な管理方法を検討していきたいと思ひます。

《水稻作業受託実績》

作業項目	R7年度計画	R7年度実績	R6年度実績	前年対比	備 考
耕起作業	6.0 ha	2.1 ha	3.1 ha	67.7 %	
田植作業	7.5 ha	4.3 ha	4.7 ha	91.5 %	
収穫作業	7.5 ha	6.2 ha	6.5 ha	95.4 %	

《WC S用稲（稲発酵粗飼料）実績》

種 類		R7年度計画	R7年度実績	R6年度実績	前年対比
タチスズカ	作付面積	3.6 ha	3.6 ha	3.4 ha	105.9 %
	収穫量	54,000 kg	51,000 kg	51,000 kg	100.0 %

《大麦実績》

種 類		R7年度計画	R7年度実績	R6年度実績	前年対比
とよのほし	作付面積	1.5 ha	1.5 ha	1.2 ha	125.0 %
	収穫量	3,750 kg	3,075 kg	2,837 kg	108.4 %

《水稻実績》

種 類		R7年度計画	R7年度実績	R6年度実績	前年対比
にこまる その他	作付面積	0.0 ha	0.5 ha	0.0 ha	- %
	収穫量	0 kg	2,473 kg	0 kg	- %

《もち米実績》

種 類		R 7 年度計画	R 7 年度実績	R 6 年度実績	前年対比
もち米	作付面積	0.0 ha	0.5 ha	0.0 ha	－ %
	収穫量	0 kg	1,750 kg	0 kg	－ %

2 製茶部門 工場事業

製茶工場については、4月29日から5月10日まで稼働しました。加工量は、昨年と比較して減少しました。主な要因として、昨年4月の降雨量が少なかったことから肥料の効果が十分に発揮されず、新芽の生育が遅れ、全体的に収量が減ったと考えられます。また、生産者の高齢化に伴う栽培面積の縮小も加工量減少の一因となっています。

生産者の高齢化による栽培面積の縮小、機械の老朽化、人件費、燃料費や資材費の高騰など、工場を取り巻く環境は年々厳しくなることが予想されます。今後は、工場の運営体制について検討を進め、地域茶業の維持・継続に努めていきたいと思っています。

《製茶工場実績》

種 類		R 7 年度計画	R 7 年度実績	R 6 年度実績	前年対比
生葉	受託加工	12.0 t	12.3 t	15.0 t	82.0 %
	買入加工	1.5 t	1.5 t	2.6 t	57.7 %
合 計		13.5 t	13.8 t	17.6 t	78.4 %

3 製茶部門 販売事業

製茶の販売は、市内9か所、津久見市、大分市内3か所にある店舗で委託販売をしています。

大分市内については、取引先が加工品の取扱いを終了したことに伴い、同市内での販売先が減少しました。市外での新たな販売先の開拓を進めていきますが、市外での知名度はまだ十分とは言えず、商品を置けば売れるという状況ではありません。今後も積極的なPR活動や情報発信を行い、認知度向上と販路拡大に努めていきたいと思っています。

昨年と比較してリーフティーカップ(茶葉入り紙コップ)は、注文が増加しました。個包装による注文や贈答用として利用していただく機会も増え、少しずつですが、販路拡大につながっています。一方で、買い葉の減少により後半は原料となるお茶が不足し、需要があるにもかかわらず販売できない状況でした。生産者の減少や茶の生育状況は買い葉にも大きく影響するため、安定的な買入れが難しくなることが懸念されます。引き続き、生産組合との連携を図りながら、原料の安定確保に努めていきたいと思っています。

《製茶販売実績》

	R 7 年度計画	R 7 年度実績	R 6 年度実績	前年対比
製品販売量	450 kg	494 kg	665 kg	74.3 %

4 堆肥部門

堆肥の原料となる牛糞については、昨年度同様、定期的に畜産生産者から搬入されています。堆肥作りについては、切り返しを定期的に行うなど、より品質の良いものを作ることに努めており、まとまった供給先もあることから順調に販売することができました。今後も良質な堆肥作りに努めていかなければと考えています。

《堆肥生産販売実績》

	R 7 年度計画	R 7 年度実績	R 6 年度実績	前年対比
販売量	140 t	140 t	140 t	100.0 %

5 加工施設部門 本匠農産物加工所「匠」

加工品等の委託販売は、昨年より1か所増やし、市内5か所の直売コーナーで販売しています。また、地域のイベントにも積極的に参加し、商品のPRや認知度向上に取り組みました。

別府公園で行われた大分県農林水産祭では、昨年同様多くのお客様に商品を提供できるよう、製造・販売方法を検討し実践しました。毎年試行錯誤を重ねる中で、効率的な運営方法が徐々に確立されつつあります。あわせて、会場が遠いことや製造時間が長時間に及ぶことから、従業員の負担軽減にも配慮できる取組を行いました。まだまだ改善すべき点もあるため、今後も従業員の負担軽減と効率的な運営の両立を目指して取り組んでいきたいと思っています。

また、新たな取組として、「本匠に来ていただきたい」という思いから、加工所において「とれたて直売会」として独自のイベントを年間5回開催しました。施設を活用し、その場で試食を提供するなど、加工所ならではの特色をいかしたイベントとなりました。集客方法は、Instagramとチラシ配布が中心でしたが、来場者数は第1回の約30人から第5回には約150人まで増加し、「次を楽しみにしている」といった声も頂くなど、大変励みとなっています。また、イベントを通じて「一緒に販売したい」と申し出てくださる生産者もおり、少しずつにぎわいのある催しへと成長しています。今後は、本匠地域の方々にも参加を呼びかけ、野菜や地域産品を販売できる場として発展させ、地域のにぎわいづくりにつなげていきたいと考えています。

貸借対照表

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

有限会社 きらり

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	3,886,031	【 流 動 負 債 】	1,693,108
現 金 預 金	3,135,931	未 払 金	1,220,798
商 品	730,100	預 り 金	71,310
仮 払 金	20,000	未 払 法 人 税 等	71,000
【 固 定 資 産 】	861,376	未 払 消 費 税 等	330,000
【 有 形 固 定 資 産 】	861,376	【 固 定 負 債 】	2,307,451
機 械 装 置	795,958	長 期 借 入 金	2,307,451
車 両 運 搬 具	65,418	負 債 合 計	4,000,559
		純 資 産 の 部	
		【 株 主 資 本 】	746,848
		【 資 本 金 】	3,000,000
		【 利 益 剰 余 金 】	△ 2,253,152
		【 その他利益剰余金】	△ 2,253,152
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 2,253,152
		(内 当 期 純 利 益)	(169,914)
		純 資 産 合 計	746,848
資 産 合 計	4,747,407	負 債 ・ 純 資 産 合 計	4,747,407

損 益 計 算 書

自 至 令和 7年 4月 1日
令和 8年 3月 31日

(単位：円)

有限会社 きらり

勘 定 科 目	金 額	
【 売 上 高 】		27,595,501
【 売 上 原 価 】		
期 首 商 品 棚 卸 高	787,460	
商 品 仕 入 高	4,077,171	
合 計	4,864,631	
期 末 商 品 棚 卸 高	730,100	4,134,531
売 上 総 利 益		23,460,970
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計	31,332,358	31,332,358
営 業 損 失		7,871,388
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	2,484	
雑 収 入	449,887	
補 助 金	7,691,359	8,143,730
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	31,428	31,428
経 常 利 益		240,914
税 引 前 当 期 純 利 益		240,914
法 人 税 等		71,000
当 期 純 利 益		169,914

販売費及び一般管理費明細書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

(単位：円)

有限会社 きらり

勘 定 科 目	金 額
役 員 報 酬	573,250
給 与 手 当	5,798,232
賞 与	200,000
雑 給	8,290,411
法 定 福 利 費	1,076,597
福 利 厚 生 費	224,052
旅 費 交 通 費	23,090
通 信 費	388,824
運 賃	99,007
広 告 宣 伝 費	11,000
会 議 費	2,400
水 道 光 熱 費	1,801,092
消 耗 品 費	3,168,091
租 税 公 課	828,600
支 払 手 数 料	2,083,590
リ ー ス 料	185,761
外 注 費	2,997,165
地 代 家 賃	17,330
賃 借 料	292,530
保 険 料	371,834
修 繕 費	966,375
車 輦 費	1,039,717
減 価 却 費	372,140
雑 費	521,270
合 計	31,332,358

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

(単位：円)

有限会社 きらり

勘 定 科 目	金 額
【 株 主 資 本 】	
【 資 本 金 】	
資 本 金 当期首残高及び当期末残高	3,000,000
【 利 益 剰 余 金 】	
【その他利益剰余金】	
繰 越 利 益 剰 余 金 当期首残高	△ 2,423,066
当期変動額 当期純利益	169,914
当期末残高	△ 2,253,152
利 益 剰 余 金 合 計 当期首残高	△ 2,423,066
当期変動額	169,914
当期末残高	△ 2,253,152
株 主 資 本 合 計 当期首残高	576,934
当期変動額	169,914
当期末残高	746,848
純 資 産 合 計 当期首残高	576,934
当期変動額	169,914
当期末残高	746,848

監 査 報 告 書

第21期事業年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日迄）の事業報告、
貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費明細書ならびに付属
明細書を監査した結果、適正かつ正確であると認めます。

令和8年6月23日

有限会社 き ら り

監査役 矢野 正人



令和8年度事業計画

1 農業部門

農業部門については、受託作業の増加も見込まれますが、きらかに土地を借りてほしい、作付けをお願いしたいという依頼も増えてきていることから、今後も水稻作付け面積の拡大が予想されます。あわせて、WCS用稲（稲発酵粗飼料）、大麦の作付けを行い、新たにサンゴミズキ（花木）の植栽に取り組み、国などの交付金を活用した農業経営の安定を目指します。また、主食米、もち米の作付けをし、栗についても引き続き管理を行い、順調な生育を目指していきます。

《水稻作業受託計画》

作業項目	R8年度計画	R7年度実績	R7年度計画
耕起作業	3.0 ha	2.1 ha	6.0 ha
田植作業	5.0 ha	4.3 ha	7.5 ha
収穫作業	7.0 ha	6.2 ha	7.5 ha

《WCS用稲（稲発酵粗飼料）計画》

品 種		R8年度計画	R7年度実績	R7年度計画
ツキスズカ	作付面積	3.6 ha	3.6 ha	3.6 ha
	収穫量	51,000 kg	51,000 kg	54,000 kg

《大麦計画》

品 種		R8年度計画	R7年度実績	R7年度計画
にしのはし	作付面積	0.9 ha	1.5 ha	1.5 ha
	収穫量	2,250 kg	3,075 kg	3,750 kg

《サンゴミズキ計画》

品 種		R8年度計画	R7年度実績	R7年度計画
サンゴミズキ	作付面積	0.2 ha	0.0 ha	0.0 ha
	収穫量	0 kg	0 kg	0 kg

《水稻計画》

品 種		R8年度計画	R7年度実績	R7年度計画
にこまる その他	作付面積	1.1 ha	0.5 ha	0.0 ha
	収穫量	4,620 kg	2,473 kg	0 kg

《もち米計画》

品 種		R 8 年度計画	R 7 年度実績	R 7 年度計画
もち米	作付面積	0.5 ha	0.5 ha	0.0 ha
	収穫量	1,750 kg	1,750 kg	0 kg

2 製茶部門

茶工場の受入れについては、茶の生育状況によりますが、前年からやや増加する見込みです。一方で、受入農家数は減少傾向にあると予想されます。生産者の高齢化や栽培面積の縮小、人件費、燃料費高騰など工場を取り巻く環境は厳しさを増しています。今後も受入状況を見極めながら安定した工場運営に努めていきます。

また、販売ではリーフティーカップの販売を継続するとともに、加工所「匠」で開催するイベントを通じて試飲の機会を設け、因尾茶の魅力をより多くの方に知っていただけるよう取り組んでいきます。

《製茶工場計画》

種 類		R 8 年度計画	R 7 年度実績	R 7 年度計画
生葉	受託加工	13.5 t	12.3 t	12.0 t
	買入加工	1.9 t	1.5 t	1.5 t
合 計		15.4 t	13.8 t	13.5 t

《製茶販売計画》

	R 8 年度計画	R 7 年度実績	R 7 年度計画
製品販売量	543 kg	494 kg	450 kg

3 堆肥部門

安定した供給ができるよう製造し、販売促進を行います。また、切り返し作業等を定期的に行い、堆肥の品質向上に努めます。

《堆肥生産販売計画》

	R 8 年度計画	R 7 年度実績	R 7 年度計画
販売量	140 t	140 t	140 t

4 加工施設部門 本匠農産物加工所「匠」

加工所「匠」については、今後も地域イベントに積極的に参加するとともに、「匠」独自のイベントを継続して開催していきます。多くの方に加工所「匠」の魅力を知つ

ていただくと同時に、本匠を訪れていただくことで、本匠地域の魅力を感じてもらえる機会となるよう取り組んでいきます。

令和8年度収支予算書

有限会社 きらり

*収 入

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
売 上	29,910,000	29,205,000	水稻受託作業・お茶・堆肥・まんじゅう・加工品 他
補 助 金	6,214,000	6,134,000	WCS、大麦、堆肥、栗、中山間地強化対策補助金
雑 収 入	370,000	290,000	本匠農林産物生産組合「あぐり」委託事務料、自販機手数料 他
期末商品棚卸高	792,660	600,000	
受 取 利 息	2,000	1,000	
小 計 ①	37,288,660	36,230,000	
期首商品棚卸高②	760,000	787,460	
合 計(①-②)	36,528,660	35,442,540	

*支 出

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
役 員 報 酬	400,000	450,000	役員報酬、役員日当
給 与 手 当	5,510,000	5,630,000	作業員 1名、事務員 2名
賞 与	200,000	200,000	
雑 給	9,110,000	10,190,000	賃金
法 定 福 利 費	990,000	930,000	社会保険料・労災保険 他
福 利 厚 生 費	230,000	200,000	
旅 費 交 通 費	25,000	45,000	高速代・駐車場代等
通 信 費	400,000	391,000	電話料・切手代・ケーブル使用料
運 賃	125,000	160,000	発送運賃
広 告 宣 伝 費	23,000	41,000	
会 議 費	5,000	5,000	お茶代 他
水 道 光 熱 費	1,820,000	2,040,000	電気料・水道料・ガス 他
消 耗 品 費	3,335,000	2,415,000	肥料代・シール代・段ボール、容器代 他
租 税 公 課	855,000	790,000	消費税・印紙代・自動車税
支 払 手 数 料	2,111,000	1,601,000	販売手数料・振込手数料 他
リ ー ス 料	69,000	19,000	コピー機リース料
外 注 費	3,010,000	2,150,000	ティーバッグ・リーフティーカップ製作 他
地 代 家 賃	18,000	18,000	事務所家賃
賃 借 料	293,000	300,000	土地賃借料(WCS、米、もち米)
保 険 料	377,000	415,000	PL保険料・自動車保険料・農機機械保険料
修 繕 費	740,000	940,000	機械修理代
車 両 費	1,085,000	980,000	ガソリン代、軽油代、灯油代 他
減 価 償 却 費	350,000	300,000	
雑 費	550,000	805,000	電気検査料・ごみ処理代・浄化槽清掃代 他
支 払 利 息	32,000	40,000	
仕 入	4,710,000	4,286,000	苗・種子・お茶生葉・堆肥・小麦粉・芋・栗・大豆・梅他材料
法 人 税 等	71,000	90,000	
予 備 費	84,660	11,540	
合 計	36,528,660	35,442,540	